

ちばがくコレス

VOL.4
2026.4

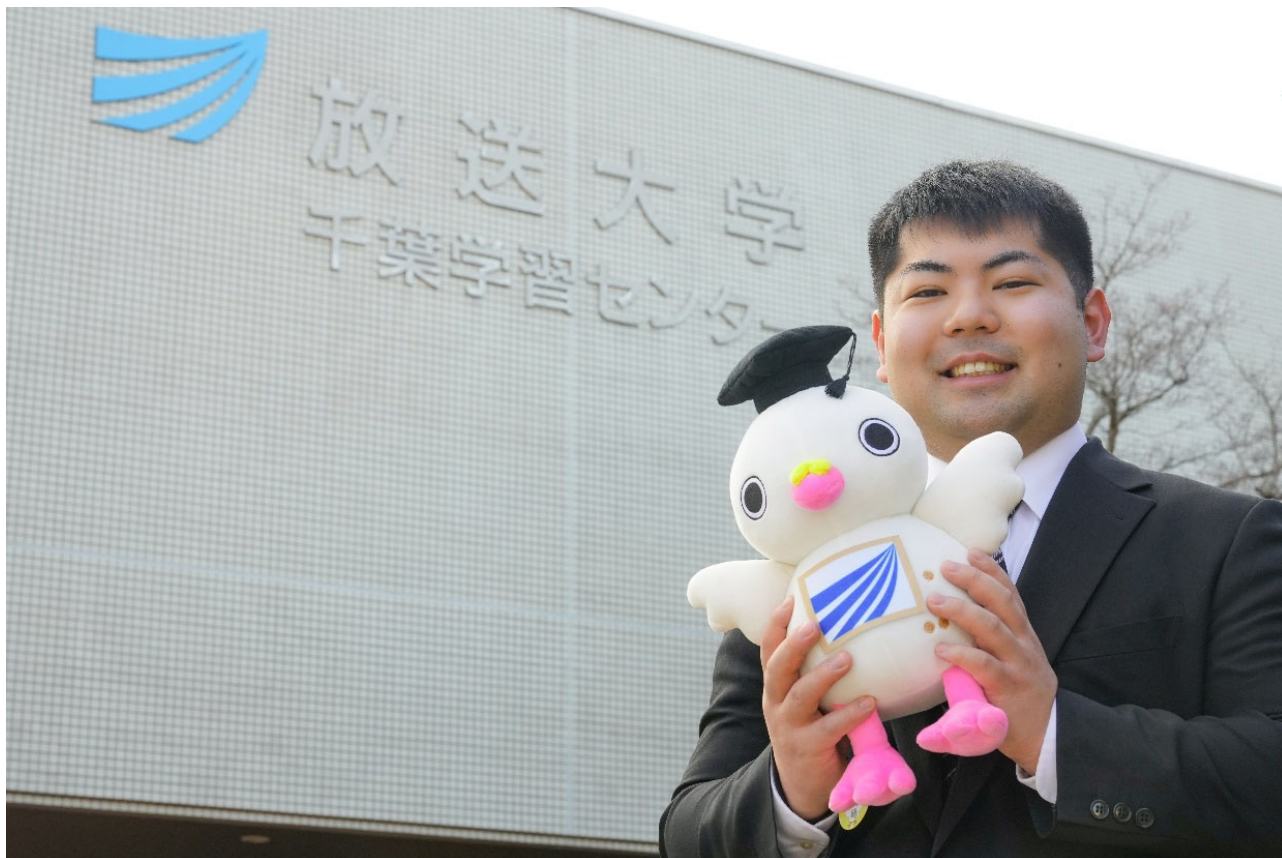
学生インタビュー、学位記授与式ほか



テレビ・ラジオ番組で司会者・コメンテーターとして活躍している麻木久仁子さん。麻木さんは選科履修生として放送大学で学ばれています。今回は千葉学習センターの面接授業「きのこの観察」「漢方と未病」に参加され、知識に加え学ぶ姿勢の大切さを語られました。詳細は放送大学WEBサイトをご覧ください。<https://www.ouj.ac.jp/lp/asa-special/single10.html>

<目次>

目次等	1
学生インタビュー	2～3
学位記授与式・入学者の集い	4
客員教員からのご挨拶	5
公開講演会・就職支援セミナー	6
在校生へのお知らせ(教務情報)	7～8



<プロフィール>

鈴木 悠斗 / すずき・ゆうと

2003年生まれ、千葉市出身。県立幕張総合高校を卒業後の2022年4月に放送大学へ入学。教養学部心理と教育コースを優秀な成績で修め、今春からは介護福祉業界での大きな活躍が期待されている。

今回ご登場いただいたのは、2026年3月に教養学部の心理と教育コースを卒業する鈴木悠斗さん。地元千葉市で生まれ育ち、社会人が多く通う放送大学に高校卒業後の18歳で入学した。鈴木さんはなぜ進学先に放送大学を選んだのか、その理由や4年間の感想を詳しく話を伺った。

鈴木さんの半生は、好奇心にあふれたものだった

インタビューの冒頭、放送大学に入るまではどんな少年だったか質問すると、鈴木さんは「とても好奇心旺盛な子供でした」と振り返る。鈴木さんは小さい頃からテレビや読書が好きな子供だったそう。小学生の頃はサッカーや相撲を経験。ちびっこ相撲の千葉県大会でチャンピオンにまで上り詰めた。「その後、の全国大会で両国国技館の土俵に上がったのは、私の数少ない自慢のひとつです。(中略)あれは良い経験をさせてもらいました」。

中学校では吹奏楽部でドラムやパーカッションをやりつつ、成績も常に学年上位をキープしていた。真面目に塾に通っているうちに自然と成績も良くなり、進学校で知られる県立幕張総合高校に合格。しかし次第に「高校の授業が難しすぎて、理解がついていけなくなっていました」。その一方、鈴木さんの高校での3年間は写真部、軽音部、演劇部の大道具係と、好奇心の赴くまま部活動にのめり込んでいった時期でもあった。



自分の希望にマッチした放送大学。18歳で入学を決意

幕張総合高校で周囲が受験モードに入中、一時は就職を考えたものの、ハローワークで『高卒枠で紹介できる仕事はありません』と言われてしまったこともあって、進学を決意。しかし学費が壁となります。「自分の学力で公立は無理。かと言って、私立の学費を親に捻出してもらうのは気が引けます。いろいろ調べていくと通信制大学というのを知り、いくつか並んだ中に放送大学の名前を見付け、私大1年分の学費で4年間通えると書かれていました。その瞬間、私は『放送大学に行こう』と決めました」。



自宅近くの休憩所でスキマ時間にしっかり勉強

高3の夏、鈴木さんは両親に進路を報告した。「『放送大学に行く』とだけ伝えたら、ひと言『わかった』と。小さい頃から私の意見を尊重してくれる両親らしいリアクションでした」。小さい頃から心理学に興味を持っていたこともあって2022年4月、彼は心理と教育コースに入学する。

大学の卒業要件では20単位を面接授業またはオンライン授業でとらなければならないが、それ以外の授業のほとんどがインターネット形式だ。在学中はアルバイトを掛け持ちしながら、卒業認定に必要な124単位をコツコツと取得していった。無理なく自分のペースで勉強できるのはとても良かった点だと鈴木さんは言う。卒業に向け、彼は集中できる環境を探した。



「ある日地元の遊戯施設の前を通りかかったら、そこに休憩所があるのを見付けました。入ってみると適度に外の音が聞こえて居心地が良かったんです。接客のバイトは9～15時なので、帰宅途中でそこに立ち寄って放送大学の授業をスマホ視聴していました」。

就職支援セミナーで予想もしなかった現実に直面

3年次からの就職活動で学内のセミナーに参加した鈴木さんは、自身の出遅れを痛感する。

「(中略)新卒就活生は3年生になってすぐ動き出している現実を知り、かなり焦りました。(中略)スタートが遅いのを悔やんでも仕方ないので、エントリーから面接、採用までのプロセスを教わり、言われるがままマイナビに登録しました」。



春から活動した結果、介護福祉企業への採用を勝ち取った。「最終面接まで進んだのが3社ほどあり、採用をいただいたのが今の会社です。大学で『死生学』や『高齢期の心理学』を学んでいたのも、社会に出てからもその知識を活かさせていけたらなと思っています」。

放送大学での4年間を、彼はこう振り返る。「放送大学は、興味のある分野を知るにはとても良い環境だと感じます。(中略)放送大学では単位取得の仕方、学び方が自由です。大人になってから資格取得のため、リスキングのために通う大学というイメージが強いですが、もし進路に迷ったら私のように18歳で放送大学に入るというのもアリだと思います。とにかく後悔のない選択を。その一つに放送大学を選んでいただけたらと思います」。

ご卒業おめでとうございます



令和8年3月20日(金)にベルサール高田馬場において、「学位記授与式」が開催されました。式典は厳かな雰囲気の中、文部科学省からは清水政務官、橋爪官房審議官、総務省からは近藤官房審議官にもご臨席を賜り、盛況のうちに終了いたしました。その後、場所をホテルニューオータニに移動し、卒業・修了祝賀パーティが開催されました。

また、3月22日(日)には、千葉学習センターにおいて成績優秀者、名誉学生に対し、敬意をこめて所長表彰授与式が開催されました。皆様、ご卒業おめでとうございます。



所長表彰式 集合写真



学長祝辞



学位記授与式の様子



所長表彰

令和8年度第1学期 入学者の集いを開催

ご入学おめでとうございます

4月5日(日)、「入学者の集い」を千葉学習センター大講義室にて開催いたしました。式典は学長メッセージに始まり、所長や客員教員の先生方から温かい祝辞をいただきました。式終了後の新入生ガイダンスでは、センターの利用方法や就学上の注意点について、教務係より詳細な説明が行われました。新入生の皆様は、これからの学習計画を見据え、真剣な面持ちで耳を傾けていました。また、ガイダンス後にはサークルの勧誘活動も行われ、会場は賑やかな活気に包まれました。皆様の学生生活が充実したものとなるよう願っております。ご入学、誠におめでとうございます。



所長挨拶



満員の大講義室



サークル勧誘

退任教員挨拶



青砥 清一先生

月2回のミニゼミでは、スペイン語のエッセイや会話文を読みながら、スペインとラテンアメリカの歴史と文化に触れました。最終年度は、セルバンテスの名著『ドン・キホーテ』にもチャレンジしました。ゼミ生のみなさんは、お仕事などでご多忙のなか、いつも熱心に受講してくれました。忘年会も楽しい思い出です。

面接授業でも、受講生のみなさんとともに豊かな学びの時間を過ごすことができました。最後に、ミニゼミと面接授業を支えてくださった千葉学習センター職員の方々に御礼申し上げます。



金子 智栄子先生

5年間、本当にお世話になりました。文京学院大学・大学院で長く保育者養成に携わってきた経験をもとに、「子どもを理解し、子どもに学ぶ」と題したミニゼミを担当させていただきました。放送大学の学生の皆様は、園長経験をお持ちの方や海外で保育に関わってこられた方など、さまざまなご経験をお持ちで、むしろ私の方が多くのことを教えていただいたように感じております。また、1年間、学生相談室の相談員を務める中で、学びに向き合う真摯な姿に励まされました。これらの経験を大切に、私自身も歩んでまいりたいと思います。本当にありがとうございました。

着任教員挨拶



兼古 勝史先生

この度1年ぶりに客員教員としてお世話になります。元々の専門は音楽教育で、千葉SCではピアノをテーマに音・音楽を学ぶミニゼミを行う予定です。ラジオ等放送局に勤務していた経験から、音楽を含むより広い音の世界＝サウンドスケープ(音風景・音環境・音文化)研究が現在の主たる研究領域です。授業では「音風景学」「音のメディアリテラシー」等を担当します。音を切り口に環境・社会・地域・メディア・デザインなど様々な関心・領域の皆様とご一緒したり意見交換させていただけましたら幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



藤本 茂雄先生

私は千葉大学にて、全学的な教育および学修・学生支援の充実に関する業務やMoodleという学習管理システムの管理・運営等に従事しています。

もともと物性物理学を専門としており、放送大学千葉学習センターでは「物理学への誘い」という面接授業を担当しています。手軽な実験を踏まえた体験型の授業として実施しており、学生のみなさまとの交流を通じて私自身貴重な体験や学びを得ることができました。客員教員としても、引き続きみなさまとの交流を通じて私自身も新たな視点や学びを得ていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

公開講演会のご報告

父・山本直純の旋律、音楽に込められた時空(とき)

2025年12月14日(日)、山本純ノ介先生による公開講演会「父・山本直純の旋律、音楽に込められた時空〈とき〉」を実施いたしました。山本直純氏の音楽人生と哲学を多角的にひもとく内容で、対面およびZOOM併用により160名以上の方にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。



12/14山本先生公開講演会
合唱隊集合写真

講演の締めくくりには幕張西小学校4年生有志と放送大学合唱団有志によるコラボレーション企画「直純を歌おう」を開催いたしました。山本純ノ介先生の指揮のもと、「さあ太陽を呼んでこい」「夕日が背中を押してくる」「歌えバンバン」を世代を超えて合唱し、会場に大きな感動をもたらしました。

参加者の皆さまからは、「素晴らしかった」「合唱がとても良かった」といったお声を多数お寄せいただきました。

化石の奇跡を考える 生命のタイムカプセル ～化石の誕生は宝くじの1等にあたるくらい難しい?!～



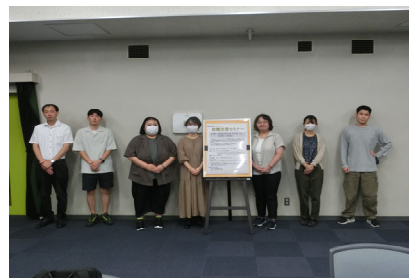
2026年2月1日、泉賢太郎先生による公開講演会「化石の奇跡を考える」を開催しました。化石として残る確率は「宝くじの1等」に例えられるほど希少であることを軸に、その仕組みや地球の歴史を最新研究を交えて解説いただきました。対面とZOOM併用で170名超が参加。恐竜好きの小学生からも熱心な質問が相次ぐなど、世代を超えて生命の神秘と進化を学ぶ、盛況な時間となりました。

就職支援セミナー

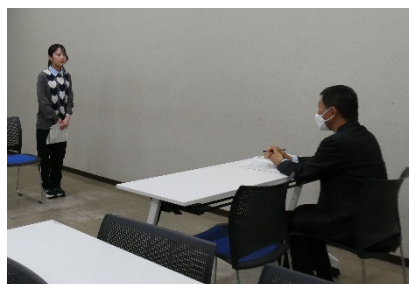
2月13日、千葉学習センターにおいて「エントリーシートの書き方セミナー」を開催しました。本セミナーでは、学生時代に力を入れたこと・自己PR・志望動機の作成ワークに加え、内定を得た先輩学生による体験談を実施しました。質疑応答も活発に行われ、就職活動の実践的なノウハウを学ぶ大変有意義な時間となりました。

また、3月5日に「面接課題発見セミナー」を実施いたしました。本セミナーでは、模擬面接を通じて自分自身の強みや課題を把握することを目的に、応募者役・面接官役・観察者役を交代しながら実践的に取り組みました。参加者の皆さまは、様々な立場を体験することで、面接を多角的に捉える貴重な機会となりました。キャリアカウンセラーや他の参加者からのフィードバックを通じて、自身の改善点や今後の対策を具体的に整理することができ、今後の就職活動に向けた一助となった様子でした。

ご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。今後も千葉学習センターでは、就職支援セミナーを継続して実施してまいります。ぜひご参加ください。



2/13就職支援セミナー 集合写真



3/5就職支援セミナー 模擬面接の様子

在学生へのお知らせ

通信指導について [学生生活の葉 P68～73(学部)、P73～78(大学院)]

通信指導とは、放送授業または一部のオンライン授業について、各学期の途中に1回一定の範囲から出題された課題について、その答案を提出し担当教員の添削指導を受けることです。
通信指導を未提出あるいは期限までに提出しなかった場合は、**単位認定試験の受験資格が得られません**ので、必ず締切日までに提出しましょう。

提出先 <https://tsushin.ouj.ac.jp>

(システムWAKABA TOP画面右側「学内リンク」から「Web通信指導」をクリック)



提出期間 [Web通信指導]

5月7日(木)10:00～5月27日(水)17:00



[郵送※]

5月13日(水)～5月27日(水)大学本部必着

※郵送提出科目、Web通信指導による提出が困難な方に限ります。

単位認定試験について [学生生活の葉 P74～82(学部)、P77～86(大学院)]

単位認定試験は、前学期と同様にWeb受験方式(一部科目については郵送試験)で実施します。
受験資格のある方は、試験日の1週間前までに「単位認定試験通知(受験票)」が届きますので、下表の試験期間中に自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、受験してください。

出題形式により試験期間が異なりますので、ご注意ください。

実施方法	出題形式	試験日程 (郵送試験は提出期間)
Web試験	択一式科目	2026年7月14日(火)9:00～7月22日(水)17:00
	記述式・併用式科目	2026年7月14日(火)9:00～7月18日(土)17:00
郵送試験 ※	すべての出題形式	2026年7月14日(火)～7月18日(土)《本部必着》

※郵送試験は、「行政学講説(’24)」、「正多面体と素数(’21)」、「日本美術史の近代とその外部(’18)」、「量子化学(’19)」の4科目のみ。

単位認定試験システム <https://shiken.ouj.ac.jp/>

(システムWAKABA TOP画面右側「学内リンク」から「Web単位認定試験」をクリック)ここで「体験版」を操作することができますので、事前に解答方法等の操作を確認しておきましょう。



操作体験会

千葉学習センターでは、単位認定試験の操作に不安な方を対象とする操作体験会を、今学期は以下の日時に開催します。
初めての単位認定試験でパソコンの操作が不安な方は、ぜひ、お申し込みください。

7月10日(金) 10:00～12:00、14:00～16:00

7月12日(日) 10:00～12:00、14:00～16:00



※上記日時に単位認定試験の体験版のパソコン操作の体験ができます。(1回10分～30分程度)上記日時が都合の悪い場合は、都度対応しますので、千葉学習センターまでご相談ください。

在学生へのお知らせ

『学生生活の栞』の電子化について

2026年度から「学生生活の栞」は冊子での配布を終了し、電子形式(PDFなど)で提供となりました。以下からダウンロードできますので、ご確認ください。

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/handbook/>



システムWAKABAをご活用ください

放送大学では、学生の皆様にシステムWAKABAのキャンパスメールや学内連絡でお知らせを随時送信しておりますので、定期的にご確認をお願いします。



千葉学習センターの閉所日2日制の導入について

千葉学習センターでは、本部の方針に従い閉所日2日制を導入し、2026年4月1日より以下の閉所日とさせていただきます。

閉所日 4月～7月・10月～1月 月曜日、火曜日
8月～9月・2月～3月 日曜日、月曜日
事務室開所時間 9:30～12:00、13:00～17:30 (変更なし)

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。